

平成28年度共同研究講座活動実績報告書

共同研究講座名：再生医療研究講座

所 属 長：吉 川 敏 一

1 共同研究講座の目的

再生医療の実用化（臨床応用）のための基礎研究を進める。

2 報告年度に係る取組状況

平成28年6月1日より、6種類の化合物の組み合わせによって、神経様細胞以外の種々の再生医療用細胞の誘導を検討してきた結果、p53抑制の代替物として、AMPK及びBMPシグナル阻害剤であるDorsomorphinを見出した。富士フイルムとの共同で以下5件の特許を出願した。

発明1：「神経系細胞を製造する方法、及び組成物」特願2016-193447

発明2：「心筋細胞を製造する方法、及び組成物」特願2016-193448

発明3：「骨芽細胞を製造する方法、及び組成物」特願2016-193445

発明4：「軟骨細胞を製造する方法、及び組成物」特願2016-193446

発明5：「褐色脂肪細胞を製造する方法、及び組成物」特願2016-193444

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

学会発表：

戴 平. リプログラミングと多能性獲得の分子メカニズム. シンポジウム33 「ヒト皮膚細胞より低分子化合物のみで種々の再生医療用細胞を誘導」 第16回日本再生医療学会総会. 2017年3月9日；仙台市.

研究助成：

戴 平 ケミカルダイレクトリプログラミングによるヒト線維芽細胞から褐色脂肪細胞誘導の試み 文部科学省科学研究費 挑戦的萌芽研究